

令和5・6年度
鹿児島県租税教育研究委嘱校
租税教育の実践



指宿市立北指宿中学校

目次

I はじめに

- 1 校区の概要 1
- 2 本校の概要 1

II 研究の概要

- 1 研究主題 2
- 2 主題設定の理由 2
- 3 研究の目標 2
- 4 研究組織 2
- 5 租税教育の全体計画 3
- 6 研究の経過 4

III 研究の実際

- 1 租税教室 5～6
- 2 税に関する作品のとりくみ 7
- 3 財政教室の実際 8～9
- 4 指宿商業高等学校との租税教室・・・ 10～11
- 5 社会科における「租税」の授業・・ 12～13
- 6 保護者・地域への啓発活動 14

IV 研究の成果と今後の課題

- 1 生徒の感想より 15～17
- 2 研究の成果 17
- 3 今後の課題 17

V おわりに 17



I はじめに

1 校区の概要

本校は、広大な敷地と樹木が生い茂る緑豊かな自然環境の中にあり、国際観光温泉保養都市を標榜し、観光や農業が盛んな指宿市の中心に位置する。そのため、各種イベント開催も多く、菜の花マラソン、菜の花マーチ等、校区内で大規模なイベントが年間を通して実施される。

校区は広範囲にわたり、指宿・魚見・柳田の3小学校区を抱えている。近くには大型の商業・飲食施設等があり、他にも文化財や自然、郷土芸能なども多く存在している。また、校区が広いため生徒の約3分の1が自転車通学であり、徒歩通学を含め安全教育に力を入れている。

保護者は、学校教育への参画意識が高くPTA活動や父魂会(おやじの会)の活動が活発で地域行事も盛んに行われており、学校、保護者、地域が一体となった教育活動を進めている。

2 本校の概要

昭和22年、指宿町立柳田小学校の一部を借用し、指宿町立北指宿中学校が設置される。

昭和25年に旧制中学の県立指宿中学校跡地に移転。昭和29年4月1日、指宿町と今和泉村が合併。同時に市制施行し指宿市となったのに伴い、指宿市立北指宿中学校に改称。今年度で開校から77年目を迎えることとなった。令和9年4月より、西指宿中学校・北指宿中学校の学校統合が決定している。現在、全校生徒は293名である。



学校教育目標

「夢の実現に向けて取り組む生徒の育成」

【校訓】 「自主」「自律」「協力」

【めざす生徒像】

- ① 自ら学び、正しく判断し、行動できる生徒
- ② 困難に耐え、心身ともにたくましい生徒
- ③ 思いやりをもち、共に助け合う心豊かな生徒



Ⅱ 研究の概要

1 研究主題

租税教育を通して、納税の大切さを考え、社会に貢献できる生徒を育成する。

2 主題設定の理由

日本の総人口に占める高齢者の割合は今後も増え続け、一方で少子化も同時に進行していることから、2052(令和34)年は、国民の2.5人に1人が65歳以上の高齢者になると予想されている。

生産年齢人口の減少が益々深刻化する中、働く労働者世代の年金制度や医療保険・介護制度などについての負担が今後大きくなり続け、財源の安定的な確保が更に困難を来す事は容易に予想されることである。

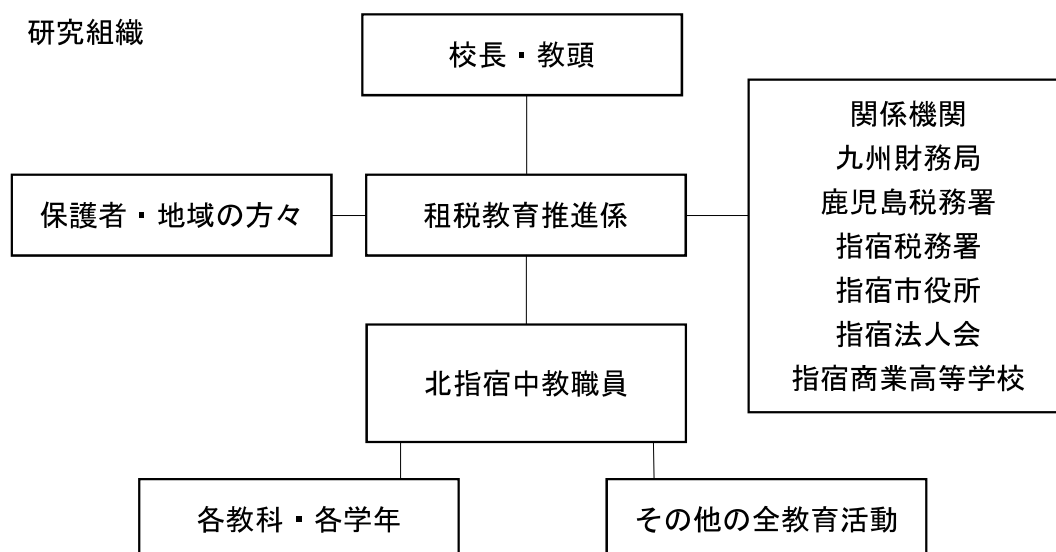
租税についての学習は、歴史的な分野での奈良時代や江戸時代、公民的分野などで行う。口分田や年貢制の苦しい生活を学ぶことから、租税にマイナスイメージを抱く生徒も少なくはないと思われる。また、今後ますます社会保障の充実が必要とされる中、地方債も合わせた公債の残高総額は1000兆円を超える事も学習していく。

そういう状況の中、未来の社会保障を支える生徒たちが租税の意義や役割を正しく理解し、国民の義務でもある納税を通して、国の在り方や行政活動に関する関心を深め、財政の中心となる資金源である「税」について、社会科の授業だけでなく、教育課程全般において考える機会を持ち、さらには指宿税務署や指宿法人会の方々と連携し、より専門的な方々から学ぶことにより知識理解を深め関心を持ってほしいことから、「租税教育を通して納税の大切さを考え社会に貢献できる生徒を育成する」と研究主題を設定した。

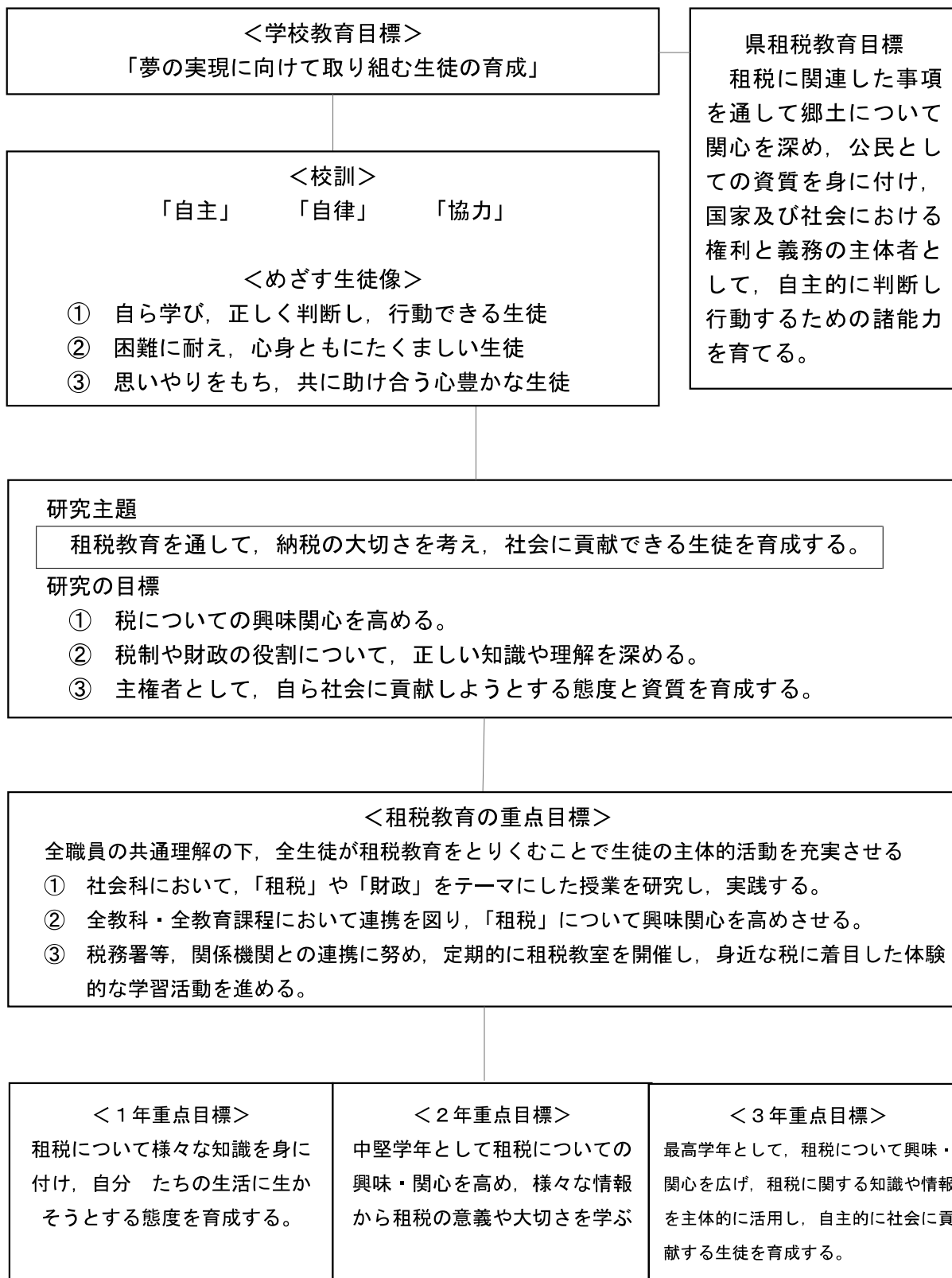
3 研究の目標

- (1) 税についての興味関心を高める。
- (2) 税制や財政の役割について、正しい知識や理解を深める。
- (3) 主権者として、自ら社会に貢献しようとする態度と資質を育成する。

4 研究組織



5 租税教育の全体計画



6 研究の経過

① 令和5年度のとりくみ＜1年目＞

月	主 な と り く み
4	・租税教育研究委嘱状交付 ・職員会議にて全職員に説明
5	・税務署担当者と「租税教育の推進」についての打合せ ・租税教育推進：先進校の資料収集
6	・研究主題・計画などの策定 ・令和5年度北指宿中学校租税教室事務打ち合わせ
7	・令和5年度北指宿中学校租税教室(全校生徒) ・租税教室推進委員会：学期反省，夏休み課題についての検討
9	・税に関する作品(作文・絵はがき)提出
1 1	・財政教室の実施(2年)：九州財務局鹿児島財務事務所，吉田雄寛さん ・鹿児島県租税教育推進協議会出会
1 2	・指宿市立指宿商業高等学校との租税教室(2年) ・租税教育推進係会：学期反省
1	・税に関する授業の実施(3年公民)
2	・令和5年度鹿児島県金融・金銭教育協議会出会 ・次年度へのとりくみ確認と租税教育関係資料収集・まとめ
3	・租税教育推進：初年度の反省，次年度に向けた研究課題のとりまとめ

② 令和6年度のとりくみ＜2年目＞

月	主 な と り く み
4	・令和6年度の研究計画の策定
5	・研究発表会に向けての打ち合わせ：指宿税務署
7	・令和6年度北指宿中学校租税教室(全校生徒) ・租税教室推進：学期反省，夏休み課題についての検討
9	・税務署担当との「租税教育研究冊子」打ち合わせ
1 0	・租税教室推進委員会：活動まとめ・資料作成・租税教育研究会発表準備
1 1	・租税教育研究会での発表(報告)：担当職員
1 2	・指宿市立指宿商業高等学校との租税教室(2年) ・租税教室推進：学期反省
1	・税に関する授業の実施(3年公民)
3	・サッカー教室(南薩地区中学生「租税教室」サッカー交流会) ・委嘱結果のとりまとめ ・租税教室推進委員会：2年目の反省と今後の方向性の確認

Ⅲ 研究の実際

1 租税教室（令和5年度）

令和5年度 租税教室 開催要項

公益社団法人 指宿法人会青年部会

【目 的】生徒1人1人自ら考え主張することができる全員参加型4択クイズ、グループディスカッションを通じて、税に関する知識を習得し、各分野における課題と現状を踏まえ、税の使われ方についても考える機会として、税への関心を抱くことを目的とする。

【日 時】令和5年7月14日(金) 6時間目(15:15～16:05) 50分

【対象者】1～3年生 300名

【場 所】体育館

【担 当】指宿法人会 青年部会

【協 力】指宿税務署

【内 容】法人会青年部あいさつ、指宿税務署あいさつ

税に関する4択クイズおよび講義、補足説明等

①おかし、本当にあった税は？ ②世界の税金でないものは？

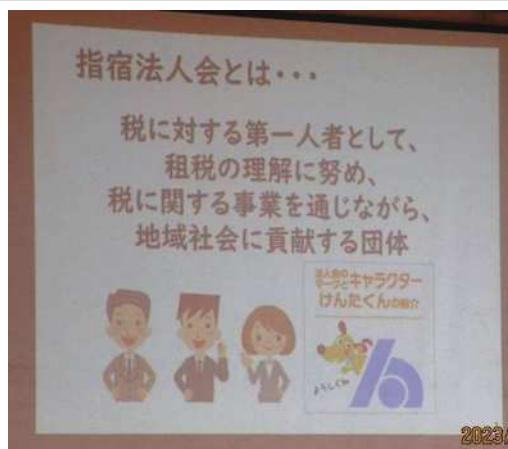
③世界で一番税金の高い国は？ ④税がかからないものは？

⑤教育に関する税金額 → 1億円の重さ体験 ⑥軽減税率について ⑦税金の使途

⑧グループディスカッションテーマ 「増加した国の借金をどうする？」

質疑応答

総括 ※終了後インタビュー(代表生徒・教師)



1 租税教室（令和6年度）

令和6年度 租税教室 開催要項

公益社団法人 指宿法人会青年部会

【目 的】生徒1人1人自ら考え主張することができる全員参加型4択クイズ、グループディスカッションを通じて、税に関する知識を習得し、各分野における課題と現状を踏まえ、税の使われ方についても考える機会として、税への関心を抱くことを目的とする。

【日 時】令和5年7月12日(金) 6時間目(15:15～16:05) 50分

【対象者】1～3年生 302名

【場 所】体育館

【担 当】指宿法人会 青年部会

【協 力】指宿税務署

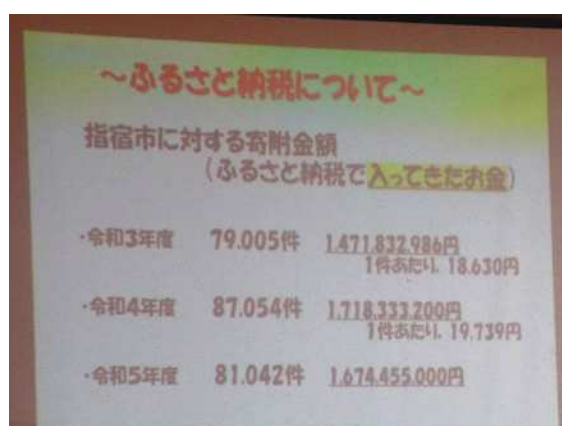
【内 容】法人会青年部あいさつ、指宿税務署あいさつ

税に関する4択クイズおよび講義、補足説明等

- ①むかし、本当にあった税は？ ②世界の税金でないものは？
- ③世界で一番税金の高い国は？ ④税がかからないものは？
- ⑤教育に関する税金額 → 1億円の重さ体験 ⑥軽減税率について
- ⑦税金の使途 能登半島地震、ふるさと納税、入湯税 等
- ⑧グループディスカッションテーマ 「ふるさと納税返礼額をあげるには？」

質疑応答

総括 ※終了後インタビュー(代表生徒・教師)



2 税に関する作品へのとりくみ

夏休みの課題として、「税に関する作文」「税に関する絵はがき」を選定した。夏休み前に租税教室を実施した事や美術科との連携もとれたことで、税に関する知識や関心を持つ生徒が増えた事から、多くの生徒が作品を仕上げる事ができた。中には受賞する生徒も出てきた。

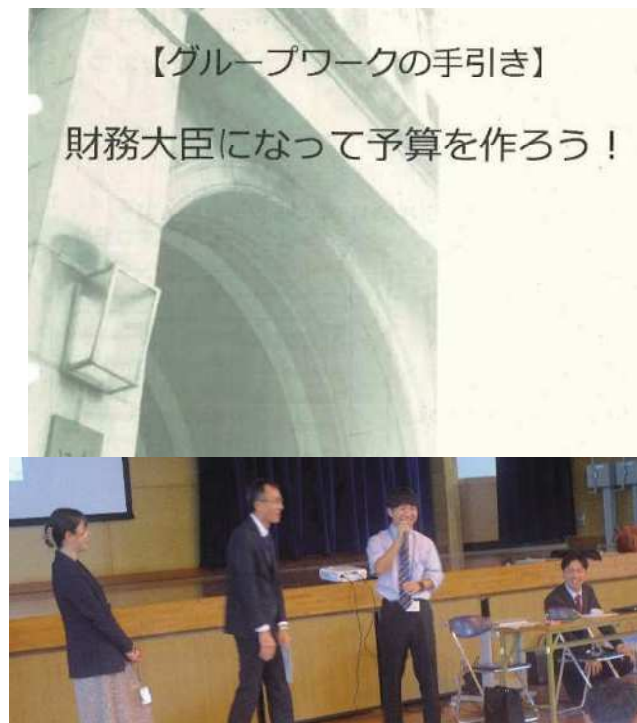


令和5年度の入賞者

作品	氏名	学年	入賞名
税に関する作文	當時久保 若葉	3	指宿税務署長賞
	福村 真歩	3	指宿地区税務連絡協議会会長賞
税に関する絵はがき コンクール	有村 琉奏	1	優秀賞
	吉永 絢	3	佳作
	大渡 結梨	1	佳作

作文2年 79名 3年56名合計135名提出

3 財政教室の実際（九州財務局鹿児島財務事務所、吉田雄寛さんが用意された当日の資料より）



グループワークの概要

みなさんは今日から財務大臣です。
どのように税金を集めて、集めたお金をどのように使えば、日本の未来を良くできるか、ということを考えながら、グループのみなで国の予算案を作ってみましょう。

【配付資料】
 ①グループワークの手引き(A4) ※1人1部ずつ配付
 ②ワークシート(A3) ※1グループ1部ずつ配付

【グループワークの手引き】
財務大臣になって予算を作ろう！

タブレット端末（PC端末）を使って、国の予算を作ろう

【タブレット端末（PC端末）の画面の見方】

入力エリア

歳出		歳入	
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持

確認エリア

歳出		歳入	
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持

タブレット端末（PC端末）への入力の方法

歳出		歳入	
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持
社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持	社会保険 税状維持

➤ 歳出・歳入の各項目名の下のセルをタッチ（PCの場合はクリック、以下同じ）すると、「▼」ボタンが表示されます。このボタンをタッチすると、その項目の増減に関する選択リストが表示されます。

➤ グループで話し合いながら、各項目の予算をどうするか（どのくらい増減するか、現状維持とするか）、選択リストから進めてください。

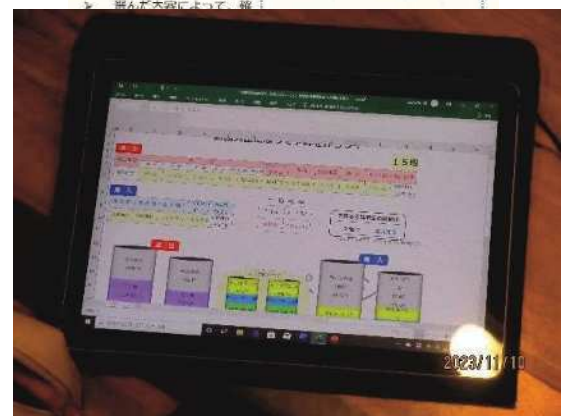
【予算の増減を検討する項目】

- 歳出
 - ・社会保険
 - ・公共事業
 - ・教育
- 歳入
 - ・所得税
 - ・法人税

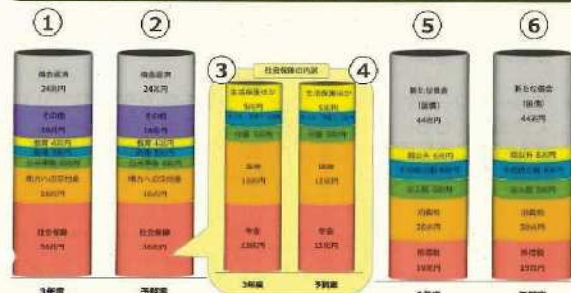
※増減率を100%、50%、30%、10%、5%から選択

当日の内容

- 1 日本の財政を考えよう（動画視聴）
- 2 パンフレット「日本の財政を考えよう」の説明
- 3 グループワーク
 - 「財務大臣になって日本の予算を作ろう」
 - グループに別れて予算の方向性検討
 - 各班の予算計画発表
- 4 まとめ



できあがった来年度の予算案を確認・検証しよう



➤ グラフは、左から順に

- ① 今年度の歳出予算
- ② グループの来年度の歳出予算の案
- ③ 今年度の歳入予算のうち社会保障の内訳
- ④ グループで作成した歳出予算の案のうち社会保障の内訳
- ⑤ 今年度の歳入予算
- ⑥ グループの来年度の歳入予算の案

を表しています。

➤ 歳出・歳入それぞれについて、今年度予算と来年度予算案とを比較してみて、グループで話し合った内容がうまく反映されているか、確認・検証しましょう。

➤ できあがった来年度予算案を基に、「借金の総額」の増減額(※)、が表示されます。こちらもグループで話し合った内容が反映されているか、確認・検証しましょう。

※「借金の総額」の増減

=来年度の「新たな借金」-来年度の「借金返済」

ちなみに、令和3年度予算では、248万円の借金を返済する一方で、44万円の新たな借金をしている
ので、44万円-248万円=-204万円
➡前年度と比べて、借金の総額が204万円増えていることになります。

グループの話し合いの内容をワークシートに記入しよう

➤ グループ内で話し合いするときは、その内容をワークシートに書き込みながら進めましょう。

➤ グループワーク終了後、各グループの来年度の予算案について発表してもらいます。自分達のグループの予算案の中で、どんなところに注目してほしいのか(アピールポイント)を意識しながら、ワークシートに書き込んでいきましょう。



4 指宿商業高等学校との租税教室

令和5年度 指宿市立指宿商業高等学校との租税教室 開催要項

指宿市立指宿商業高等学校 株式会社指商本部役員3年生10名

【目 的】税金の種類やしきみ、使われ方など中学生にとって難しい内容を、身近な高校生が中学生に出前授業を行い、納税の重要性を中学生・高校生ともに認識できるようにする。

【意 義】出前授業をとおして、中学生には納税の意義はもとより本校を進路のひとつとして考えてもらう。高校生にはプレゼン能力の育成とともに、礼儀作法やマナーの確認の場とし、生きた金融教育の実践とする。

【日 時】令和5年12月8日(金) 5・6時間目(14:15～16:05)

【対象者】北指宿中学校2年生 75名

【講 師】指宿市立指宿商業高等学校 株式会社指商本部役員3年生10名

【詳 細】高校生が授業を担当し、中学生は各教室で視聴する。(5時間目)
高校生が2年生各教室を含数名で移動し、質問等を受ける。(6時間目)

【内 容】①指宿商業高等学校の紹介 ②株式会社の紹介
③租税教室 ④グループワーク
⑤全体まとめ → 1組；税務署 2組；市役所 3組；法人会
⑥総括 ※終了后感想用紙記入(中学生)



租税教室についてのアンケート

問1 今回の租税教室を受けて、税金への理解が深まりましたか。

- | | | | |
|--------------|-------|-----------|-------|
| 1 深まった | (88%) | 2 やや深まった | (12%) |
| 3 あまり深まらなかった | (0%) | 4 深まらなかった | (0%) |

問2 今回の租税教室を受けて、特に勉強になったところはどこですか。あてはまるものに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 スライド資料「株式会社指宿商業について」 | (20名) |
| 2 スライド資料「私たちに身近な税の世界によろこし！」 | (12名) |
| 3 税金〇×クイズ | (31名) |
| 4 グループワーク「みなさんの豊かな暮らしのために考えてみよう」 | (54名) |

生徒の感想

- ※ 年齢の近い高校生に授業をしていただくことで、とても新鮮な気持ちで租税について学ぶことができた。特に指宿についてのグループワークでは身近な問題を友達とより深めて考えることができた。今日学んだ租税の事を日常生活で是非生かしていきたい。
- ※ 財政を立て直すことはとても難しいことだと思った。市でも難しいのに国でするのはもっと難しいと思った。これからもっと税に対する意識を深めたい。
- ※ 税は、いろいろな種類と役割があることが分かりました。指宿も税を増やすための対策をみんなで考えることができました。私たちが暮らす世の中で税はとても大切だと改めて感じました。
- ※ 指宿市は借金をしていることを初めて知りました。そのために、グループでたくさん買い物をする観光地を増やすなどたくさんの意見がでておもしろかったです。
- ※ まず、なぜ指商の人が来るのだろうと疑問に思っていたが、指商では株式会社を経営していて高校の中で一番税に関わりのある高校と分かり納得しました。本題の租税教室は資料を使って説明してくれたのでとても分かりやすかったです。税金のクイズも面白かったです。
- ※ 私たちが普段目にしているものにたくさんの税金が使われていることを知る事ができました。また、グループを使ってのみんなで考える時間はとても役に立ちました。指宿市の借金を減らすにはどうしたらよいか、これから気をつけていこうと思いました。



令和5年12月15日(金)、南日本新聞に掲載

5 社会科授業における租税学習

社会科学習指導案（公民的分野）

指宿市立北指宿中学校

3年2組 計30名

授業者 教諭 櫻井 康郎

1 単元名 財政と政府の役割

教材名 税金を納めること 税金の種類と特徴

2 本時の実際

（1） 本時の学習目標

- ① 税金の種類とそれぞれの特徴について、身近な暮らしの中から具体的に理解する。
- ② 租税には効率性と公平性の問題があることに気づき、納税の意義について考える。

（2） 本時の実際

過程	時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導入	10分	1 社会科小テストを行う。 2 本時までの流れを確認する。 3 本時の学習目標を確認する。 税金を納める理由と、税金の種類について学習しよう。	・プレゼンテーションでの実施。 ・導入の過程で時間をとりすぎないようにする。 ・これまでの学習の流れで本時の位置を確認する。 （租税教室、指宿商業高等学校との学習 等） ・本時の学習に対する意欲を喚起する。
展開	35分	4 ワークシートの記入をする。 5 本時の学習内容を確認する。 6 教科書の朗読・ワークシートの説明・解答 7 ワークシートVの活動をする 「税金を使ってまちをつくろう」	・ワークシートの活動Ⅰ～Ⅳを行う（各自）。 ・板書を早めに済ませ、机間巡視を行う。 ・板書「今日のメニュー」で確認。 ・授業開始25分経過で換気を行う。 ・プレゼンテーションでの実施。 ・重要語句をおさえながら、教科書やワークシートに下線を引く。 ・グループで実施し、本時の山場として設定したが、現状を踏まえ、個人で作業を行い各自で感想を記入しまとめる。 ・隣の生徒と意見交換を行う。
終末	5分	8 学習のまとめ	・書き終えたワークシートを見直し、感想を発表する生徒の感想を聞き本時の授業を振り返る。 ・本時の学習を振り返るとともに、次時の授業へとつなげていく。

（3） 評価

- ・ 税金のしくみとその役割に関心を持ち、身近な暮らしと関連づけてさまざまな種類や特徴を理解しようとしている。（関心・意欲・態度）
- ・ 税金を納める意味と税金に関わる問題点や課題について、効率性と公平性の面からとらえ、説明することができる。（資料活用の技能）

④ 税金を納めること 税金の種類と特徴 (教P158~159)

税金にはどのような種類があり、どのような働きがあるのか学習しよう。

- ◆ 活動Ⅰ 皆さんから集めた税金はどのように使われているのか記入しよう

- ◆ 活動Ⅱ 教科書を活用して、10%の消費税の内訳の記入をしよう

7.9% = 2.2% =

- ◆ 活動Ⅲ 教科書を参考にして、「主な税金の種類」をまとめてみよう

	国税	地方税
直接税 (納税者=担税者)		都道府県民税 市町村税
間接税 (納税者≠担税者)		都道府県民税 市町村税

- ◆ 活動Ⅳ 教科書や資料等より、重要語句の意味を調べ簡潔にまとめてみよう！

累進課税
確定申告

- ◆ 活動Ⅴ ワークシート裏面「税金を使ってまちを作ろう」を行い、感想を記入しよう

税金を使って まち を作ろう！

- ① 紙の裏を使って、まちにどの施設をいくつ作るかを計画する。
- ② 各施設が「100」以下になるように計算したら、下の地図に施設の場所と施設が作る枚数を記入。
- ③ あいている場所に道路や橋なども描こう。

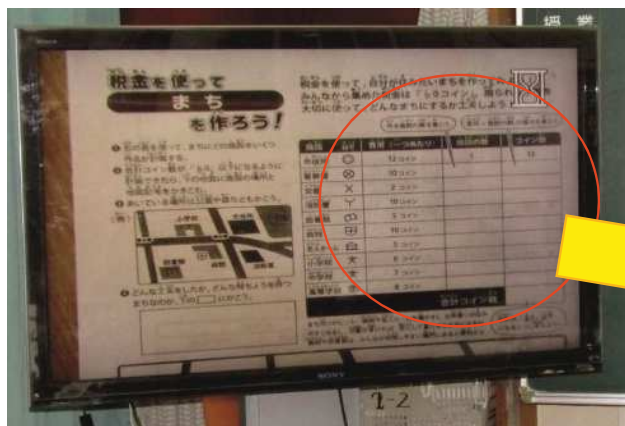
- ④ どんなまちにしたか、どんな持ちようを持つまちなのか、下の□に描こう。

税金を使って、自分が住みたいまちを作ってみよう！
みんなから集めた税金は「100コイン」。限られた予算を大切に使うって、どんなまちにするか工夫しよう！

施設	記号	費用 (一つあたり)	施設の枚数	コイン数
市役所	◎	12 コイン	1	12
警察署	⊗	10 コイン		
交番	X	2 コイン		
消防署	Y	10 コイン		
図書館	田	5 コイン		
病院	田	10 コイン		
老人ホーム	⌂	5 コイン		
小学校	文	6 コイン		
中学校	文	7 コイン		
高等学校	⊗	8 コイン		
合計コイン数				

まちの中のところ、施設をたくさん作る予定です。施設が作るコイン数を計算し、施設が作るコイン数が「100」以下になるように工夫しよう！

社会科／公民的分野ワークシート



税金を使って、自分が住みたいまちを作ってみよう！
みんなから集めた税金は「100コイン」。限られた予算を大切に使うって、どんなまちにするか工夫しよう！

「作る施設の枚数」を記入しよう。 「費用×施設の枚数」の答えを記入しよう。

施設	記号	費用 (一つあたり)	施設の枚数	コイン数
市役所	◎	12 コイン	1	12
警察署	⊗	10 コイン		
交番	X	2 コイン		
消防署	Y	10 コイン		
図書館	田	5 コイン		
病院	田	10 コイン		
老人ホーム	⌂	5 コイン		
小学校	文	6 コイン		
中学校	文	7 コイン		
高等学校	⊗	8 コイン		
合計コイン数				



6 保護者・地域への啓発活動

北指宿中学校だより びろう樹

令和5年度 7月号

電話 25-3431
FAX 25-3551
校長 有村 宏史

租税教室 7月14日(金)

県租税教育推進協議会から委嘱を受け、2年間(令和5~6年度)の租税教育の研究に取り組んでいます。7/14は、指宿法人会青年部の皆様が税について、クイズなどを交えながら丁寧に説明していただきました。3年の福村真帆さんは、

「今日は楽しく学ぶことができた。これから税に関心をもちたい。ありがとうございました」と感想とお礼を述べました。



租税教室 12月8日(金)

税金の種類や仕組み、使われ方などを学ぶ租税教室が2年生を対象に行われました。

今回は、指宿商業高校生が出前授業の講師として北指宿中に来られて、税金について教えていただきました。効果的な税金の使い方などグループで話し合い、指宿税務署や指宿法人会の方からも助言をいただき、学習を深めることができました。中学生からは「高校生から教えていただき、年齢も近く親近感があり分かりやすかった。」と感想がありました。指宿商業高校のみなさん、ありがとうございました。



夢進 むしん だいしんしょう
第2号 2023年12月15日(金)発行
指宿市立北指宿中学校 2年1組学級通信 第32号
2学期終了まで あと 5回 学校
北指宿中学校「自主」「自律」「協力」～夢を実現させるために、自分自身で学ぶ生徒を目指そう
最終下校時刻 → 17:30 安全に気を配り、しっかり下校を。家の人が道の隅をまっていますよ

今週の1組 12/11(月)~12/15(金)

日	曜	主 な で き ご と	日直
11	月	□国語・動詞助動詞:「とても遅かったけど頑張りたい。書きたい」(素羽さん) □保健・15分間走:「ずっと走りっぱなしできつかったです」(新菜さん) □全校朝会・表彰式:「新人戦3位で勝った。次も頑張ります」(心春さん) □「堀井先生が帰国を悪くして来ませんでした。明日来るといいます」(怡仁さん)	坂本さん
12	火	□数学・次関数:「とても難しいです。復習を頑張ろうと思う」(里来さん) □美術作品完成:「(保護者に)あげました。喜んで嬉しかったです」(行香さん)	心仁さん
13	水	□新ラン最終日:「目標が達成できるように最後まであきらめず頑張りたい」(一穂さん) □午後・産業フェスタ参加:南薩地区の高校生から高校の魅力を教えてもらいました	新子さん
14	木	□校内長距離記録会:完走した皆さん。昨年よりタイムは縮まりましたか? □午後・防犯教室:不審者が来ない事を想定した避難訓練を行いました	成心さん
15	金		通人さん

☆ 来週の日割・行事予定 ☆

月	日	曜	1	2	3	4	5	6	主な校内行事	校地
12	18(月)	英	社	体	家	数	国		ALT	A
	19(火)	理	数	育	道	体			学年集会	A
	20(水)	社	理	英	美	創	道		人権学習会	B
	21(木)	社	理	数	国	英	学			B
	22(金)	行	行	学	学				終業式	特

Information (お知らせ)

- 来週の日割当番はA組です。
- 「成績速報表」の返却をお願いします。
- 「食物アレルギーに関する調査」の提出をお願いします。(12/22としめきり)
- 来週末に通知表を送ります。1学期末より返却されていない方は返却をお願いします。



租税教室(12/8)

指宿商業高校の生徒さんと税務署の方々、指宿法人会の方々と共に「税」について考えました。



財政教室(11/10)

財務大臣となり、国家予算について考えました

IV 研究の成果と今後の課題

1 2年間租税学習を行った生徒の感想より

私たちは、生活をする上でさまざまな税と関わり、ということから分かった。また、国の歳入総額のうち4.9%が私たちの教育費に使われていて、誰よりも良い教育を受けられるようになった、ということも感じた。

私は、これから税に関わることをたくさんある中で学んだことを生かしていきたいと思います。

税は、私たちの見えないところにも、たくさんあるんだと気づきました。また、驚いたことが2つあります。1つ目は、私たちの1日の中で、色々なものに3回使われていることです。また、自分たちの生活にあるなと思ってなかったです。2つ目は、税には、3通りの分類方法があることです。自分が知っていること以外にたくさん分かっていました。

生活をする中で、必要で私たちが気持ちよく生きるために大切な物、年金をもらったり、学費や授業料を無償にもらったりすることや仕事が無くなっても生活を保障してもらえる物だと思いました。

「税」について考える学習で、私たちが生きるうえで税は必要なものだということがわかりました。なぜなら学校の授業などで使う教科書や机、椅子など税金が使われているので、もしなかったら勉強ができなくなってしまう可能性があるからです。このようなことから税金は日常生活にかかせないものだと思えます。

今まで知らなかった税金の仕組み、また生活しているだけでこれだけの税金が関わっていることを知れた。税に対してあまり、考えることがなく、消費税がいかに身近な税金に税金のことも知る機会をくれたこと、活動した。そのおかげで、税に対する印象が好印象になった。税金は保護の仕組みで、入ったお金は良い印象があった。これから税と税金が関わっていくから、その時に学んだことを思い出して、忘れずにいたい。

税金というのは国が成り立っていく中でとても大切なものだと感じた。租税教室を通して、自分たちで予算などを考える体験を通して、税金についての関心が高まっていった。税について学んだ2年間はとてもよい学習機会だった。

僕が2年間で租税教室で学んだことは、世界には様々な税金があることや僕達が病気になったり、困っている時などにも税金が使われていることを知ることができました。また、なぜ税金を納める必要があるのかを知ることができました。

僕はこの2年間でとても大切なことをたくさん知ることができました。

税に関する学習を通して、税にはたくさんの種類があり、国や地域特有のものもあることを知りました。財政教室では、実際に国家予算を分けて国や地域の財政についてより深く考えることができました。これから税についての理解を深めていきたいです。

生きていく上で税金は必要なものであり、生活を快適にして、充実させるためにも大切なものだと思いました。税金について知っておけば、将来役に立つと思った。税金が私たちの生活にどんな風に関わっているのかを知れた。

僕がこの2年間で租税教室や指南の学習を通して学んだことは、僕たちの身の回りにはいかに税金が使われているのか、税金で助けているということに気づきました。なぜ税金を納める必要があるのか、現在の国の税金の使われ方、国の税金の歳入額や歳出額などを知ることができました。これからは税の仕組みについて、もっと学びたいです。

税には様々な種類があることを初めて知ることができ、私は中学生の1日生活の中で、学校に行くときに足がけの橋や道路、授業を受ける際に使う机や机、そして私の目の前、そしてその言葉や消滅した人々のものに税金が使われていることを初めて知り、税金は、私の生活に欠かせないと思いました。

税はとても大切なものだということを知ることができました。もし、税がなかったら、救急車を呼ぶことだけでお金がかかってしまったり、ゴミ集積場がなくなり、町というものが、ゴミだらけになっていたかもしれません。なので、税はなくてはならないものだと思いました。

私はこの税についての学習を通して日本は様々な事を税金で負担していることを知りました。日本の歳出総額のうち33.5%が社会保障関係費になっていて、私たち国民の健康や生活を守るために出していると思うと、とてもありがたく感じました。

「税」について考える学習のなかで、私は税金があるから、学校、病院などを利用できているのだと思いました。なので、税金がないといけ、ないなと思いました。これから税金について、もっと知りたいと思いました。

私たちが普段物を買ったり、学校の物だたり、税金の中で暮らしています。その税金が国に使われていることを知りました。税金がなかったらどうなるのかなどを考えながら、これから税についてよく知り、大切さを感じていきたいと思っています。

私たちが納めた税金が社会を創っていると思うと、嬉しいです。自分達の生活がより豊かになるように使ってほしいです。また、税金の新しい使い方についても考えてみたいと思いました。

私は、これまでの税に関する授業を経て、税の使われ方に関心を持ちました。救急車を呼ぶこと、私たちの教科書など、普段私たちがあたりまえに使っているものは、税のおかげで、使えているのだと、強く思いました。

税についての学習を通して、教科書など、身の回りものに税金が使われていることがわかった。なので、今まで以上に大切に使用していきたい。また鹿児島県の予算は宮崎や熊本県に比べて高いことがわかった。この違いを今後につなげていきたい。

「税」について、私が思ったことは、まず「税金」は、私たちの生活のさまざまなところで使われているということにびっくりしました。私たちが中学生には年間約106万円ほど使われていると知って、「税」、てすごいなと思いました。また、日本が借金していることも、びっくりしました。授業でも借金についてどうすれば良いのかをタブレットを使って学んだり、とても楽しく「税」について学ぶことができた。

私が租税教室や指導の方たちとの学習、などを通して学んだ事はたくさんありました。その中でも一番印象に残った物は税には色々な種類があることでした。これから先、と僕の知らない税がたくさんある中で、てくてく思うので、今日の経験と今後にも活かして行きたいです。

税金がどのような方法で集められて、何に使われているのかを学習して知ることができました。学校で使っている教科書も税金が使われているので、大事に使いたいと思いました。これからも税について調べ、たくさん知識を取り入れ、少しでも力になることをしたいと思いました。

私は、「税」について考える学習を通して、税金が私達の身近にあるたくさんのものに使われていることを知りました。私は、このような学習をする前は、税金とは何だろう、何に使われるのかなどと疑問に思うことがたくさんありましたが、その分、たくさん知ることができました。もっとよりよい暮らしが社会になるために、これからも、税金と向き合っていこうと思いました。

今までの税のことがわかってから、1人で税金教室などでいろいろなことがわかることがわかって、税金は国民のためにつかわれていること、国民をまもっているのがわかった。そしてこの世界ではほとんどの国に税金があるのだから、知ることができた。これから身のまわりで税金がどのように使われているのかを調べていきたいです。

国を支えてくれる重要なものであり、使い道を慎重に選んでいかないと、負しくなるとい、国民の豊かで明るい生活がなくなってしまう。税金の使い道を見直して、借金返済などに使う量を増やして、減らしたいと思っています。

2年間の中で「税」について学んだことは興味深いものばかりでした。国の財政の実態を知り、「税」は私たちの生活に必要不可欠なものであり、これからの社会にとって大切なものであることが身に染みて、実感することができました。国や市の借金が少しでも減るように「税」について今よりもっと学び、深く関わり、社会に貢献していきたいです。

税について学習した事で、私は税のありがたみを改めて感じました。税についてこれまで深く考えた事はあまりなく、税って何のためにあるのだろうと考えていましたが、最近では、税って私たちにとっても必要なものだと思えるようになりました。これからも税について深く考えて、私の知らない税も理解した上で、これからの人生に役立てていきたいです。

2 研究の成果

- ① 3年生の感想から、2年間に渡る租税教育を通して、納税への正しい知識や理解を深めるとともに納税者としての意識や自覚を持つ生徒が増えた事を実感できた。
- ② 社会科の授業だけでなく、美術科との連携で行った「税に関する絵はがきコンクール」への応募、財務事務所・税務署・指宿法人会青年部の方を招いた専門的分野を深める「財政教室」や「租税教室」、地域の高等学校とリンクして行っている「租税教室」など、幅広く税に関する学習を行ったことで税に関する知識が深まり、納税への興味・関心が高まった。
- ③ 税に対する知識が増えたことにより税を身近に感じ、将来の納税者としての自覚が高まった。

3 今後の課題

- ① 多くの教育活動で租税教室に積極的にとりくむことができ、特に多く関わってきた3年生は「税」に関して「難しい」、「分かりにくい」と感じる生徒は少なくなり、納税の大切さを理解してもらえた。今後も組織的・計画的なとりくみを継続していく必要がある。
- ② 学校だよりや新聞への掲載を通して校内における租税学習を案内する事はできたが、保護者への啓発活動が不十分であった。生徒が理解し学んだことを地域に発表し、学校から地域や家庭に発信できるような機会を増やしていきたい。

V おわりに

2年間にわたり、租税教育研究推進校として、「租税教育を通して、納税の大切さを考え、社会に貢献できる生徒を育成する。」を研究主題としてとりくんできた。前任校では、生徒会活動の一環として、夏季休業中に「市長と夢を語る会」が企画されていた。2年間の租税学習を通して疑問に感じた事や、指宿市の未来について市長(議員)に質問し、討論してもらう機会が本市にもあれば、生徒はどのような質問をしていたのか大変興味深い。

税についての正しい知識や、納税の大切さを理解してくれた生徒たちが、将来の社会保障を支える立場となり、国の在り方や行政活動に対して今後ますます関心を深めてくれることに期待したい。

最後にこのような機会を与えてくださった鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、本校に何度も足を運んでくださりご指導をいただいた指宿税務署や鹿児島税務署、指宿法人会や指宿商業高等学校など諸関係機関の方々に、心から感謝申し上げます。